

「落花生」生育情報（第2報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

令和2年8月19日

千葉県農林水産部

生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。
調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を保証するものではありません。

1 生育状況

7月中下旬は、平均気温、日照時間ともに平年を下回りましたが、8月上旬以降は、平均気温、日照時間は平年を上回り、降水量は少なくなりました。

8月10日時点の作況調査ほ及び落花生研究室のほ場では、7月上中旬の気温や日照の影響により、地上部の生育は平年を下回りましたが、梅雨明け後の天候回復により、さや数はほぼ平年並みとなっています。なお、ほ場によるバラつきが大きくなっています。

表1 作況調査成績（8月10日調査）※対比は平年比

品種名	年次	開花期	地上部 生体重 (g/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	さや数 (個/m ²)	生さや重 (g/m ²)	さや 乾物重 (g/m ²)	最長 分枝長 (cm)
千葉半立 〔調査区の平均 は種日5月31日〕	本年	7/9	1,532	319	89	306	38	34
	平年	7/9	2,422	380	89	268	41	40
	対比	±0	63%	84%	100%	114%	93%	86%
ナカテユタカ 〔調査区の平均 は種日5月27日〕	本年	7/6	1,432	306	169	555	100	34
	平年	7/5	2,305	374	165	591	97	39
	対比	+1	62%	82%	102%	94%	104%	87%
おおまさり 〔調査区の平均 は種日5月26日〕	本年	7/7	1,291	259	69	242	49	47
	平年	7/5	1,920	328	65	276	49	51
	対比	+2	67%	79%	107%	88%	100%	92%
千葉P114号 (Qなっつ) 〔調査区の平均 は種日6月2日〕	本年	7/12	1,379	269	110	382	60	36
	平年	7/9	2,050	303	127	435	67	44
	対比	+3	67%	89%	87%	88%	89%	81%

* 本年値は、各調査地点の平均値。「千葉半立」は千葉・印旛・香取・山武地区、「ナカテユタカ」は千葉・海匝・長生・君津地区、「おおまさり」は千葉・印旛・君津地区、「千葉P114号」は千葉・印旛・香取・長生地区。

* 平年値は、平成25年から令和元年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く平均。ただし、

「千葉P114号」のみ平成28年から令和元年（4年間）の平均。

* 対比はラウンド処理をしているため、小数点以下が合わない場合がある。

* 開花期は、40～50%の株に1輪でも花が咲き始めた日。

表2 (参考) 落花生研究室(八街市)の作況(本年の値、8月11日調査)

は種日	品種名	開花期	地上部 生体重 (g/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	さや数 (個/m ²)	生さや重 (g/m ²)	さや 乾物重 (g/m ²)	最長 分枝長 (cm)
5月20日 (標播)	千葉半立	7/1	1,820 (72%)	403 (83%)	45 (28%)	83 (17%)	11 (14%)	38 (102%)
	ナカテユタカ	6/29	1,277 (70%)	269 (70%)	133 (62%)	316 (46%)	46 (36%)	32 (91%)
	おおまさり	6/28	911 (58%)	192 (52%)	39 (82%)	361 (66%)	44 (58%)	53 (100%)
	千葉P114号 (Qなっつ)	6/30	1,363 (74%)	274 (77%)	182 (95%)	495 (80%)	70 (60%)	40 (102%)
6月12日 (晩播)	千葉半立	7/21	1,199 (57%)	277 (80%)	37 (83%)	111 (99%)	13 (121%)	34 (109%)
	ナカテユタカ	7/19	881 (46%)	205 (64%)	75 (80%)	242 (83%)	30 (95%)	28 (80%)
	おおまさり	7/19	772 (52%)	180 (65%)	38 (138%)	160 (179%)	18 (188%)	42 (82%)
	千葉P114号 (Qなっつ)	7/21	1,011 (62%)	205 (70%)	93 (96%)	290 (98%)	35 (103%)	35 (95%)

*落花生研究室の栽植密度は、「千葉半立」、「ナカテユタカ」、「千葉P114号」は5,128株/10a、「おおまさり」は2,564株/10a。カッコ内は、平成28～令和元年の平均値対比を示す。

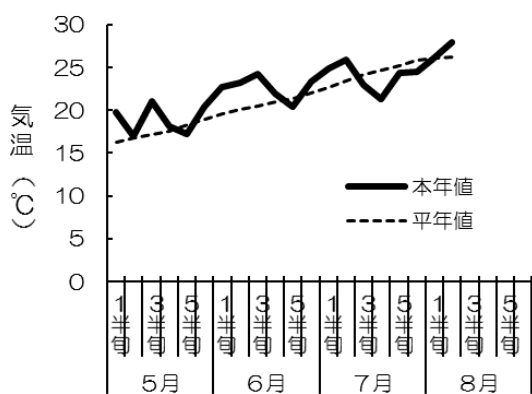


図1 気温の推移(アメダス、佐倉)

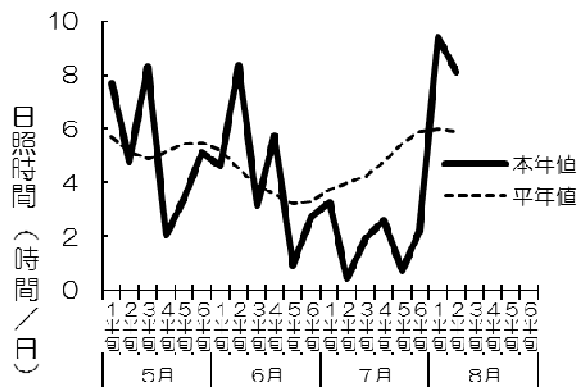


図2 日照時間の推移(アメダス、佐倉)

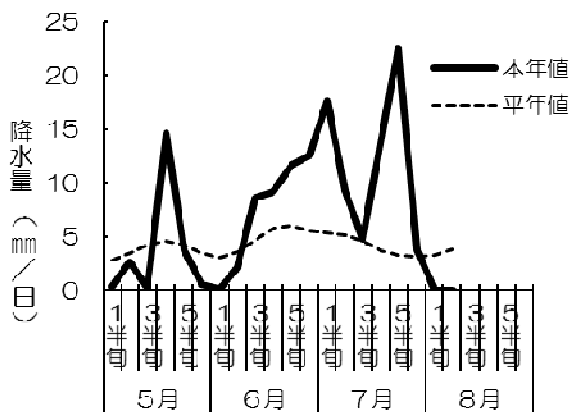


図3 降水量の推移(アメダス、佐倉)

2 これからの管理のポイント

(1) 病虫害防除について

7月までの低日照の影響もあり、褐斑病の発生が多くなっています。ほ場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めましょう。

薬剤の使用に当たっては、収穫前使用日数に注意しましょう。薬剤散布は、農薬のラベルに記載された使用基準に従って行ってください。

表3 防除薬剤

病害名	適用薬剤名	希釈倍数等	使用時期／回数
褐斑病	トップジンM水和剤	1,500～2,000倍	収穫7日前まで／4回
	ベンレート水和剤	2,000～3,000倍	収穫7日前まで／4回



褐斑病

(2) 十分なかん水を行いましょ

8月上旬以降に干ばつに遭うと、幼芽褐変症が発生しやすくなり、種子に発芽障害が生じます。そのため、

- 開花期後20日頃から、週1回を目安にかん水し、
採種する場合は、開花期後40日頃にもかん水しましょう。
- 1回のかん水量は、30ミリ以上の「十分なかん水」を心がけましょう。

(参考)

開花期後20日にかん水すると、稔実率が上がる。



図4 開花期後のかん水有無の違いによる子実の状況(平成27年千葉県農林総合研究センター)
(ガラスハウス内枠ほ場での調査結果、開花期後40日の子実の状況)

(3) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないようにしましょう。砂地の地域では収穫時期が早まるので、早めに試し掘りをしてください。

「千葉 P114 号 (Qなっつ)」は掘り遅れると食味が低下し、落ち実が発生しやすくなるので、特に注意が必要です。

表4 開花期からの掘取時期の目安

	千葉半立	ナカテユタカ	おおまさり	千葉 P114 号
開花期からの掘取時期の目安	95日後	80日後	85日後 (ゆで莢用)	80日後

表5 落花生研究室 (八街市・マルチ栽培) での収穫期目安

	は種日	開花期	収穫期目安
千葉半立	5月20日	7月1日 (+1日)	10月4日
	6月12日	7月21日 (+4日)	10月24日
ナカテユタカ	5月20日	6月29日 (+1日)	9月17日
	6月12日	7月19日 (+4日)	10月7日
おおまさり	5月20日	6月28日 (+1日)	9月21日
	6月12日	7月19日 (+4日)	10月12日
千葉 P114 号	5月20日	6月30日 (+1日)	9月18日
	6月12日	7月21日 (+4日)	10月9日

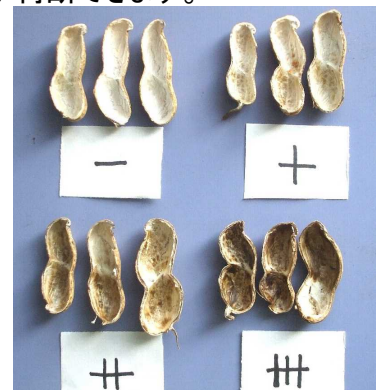
*開花期の()内は、平年差。

収穫適期判断法

「ナカテユタカ」及び「千葉 P114 号」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

<方 法>

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真+)以上になり、黒褐色(写真+++)のさやがひとつでも見られたときが掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2、3日おきに試し掘りをして判定します。



(4) 台風対策

栽培期間中に台風が接近した場合は、以下の対策をしましょう。

ア 栽培中及び乾燥中ともに冠水しないように排水路を整備する。

イ 台風後に黒渋病及び褐斑病が発生しやすいので、よく観察し、必要に応じて表3を参考に殺菌剤を散布する。